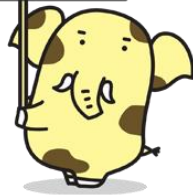


新座市の公共施設の現状と課題

こちらもぜひ
ご覧ください



この資料は、同封のアンケート調査の回答に当たって参考としていただくため、市の公共施設の現状と課題についてポイントを絞って記載したものです。
まずはこちらをお読みください。



公共施設の状況ってどうなってるの??

☆本市の公共施設は

施設総数 **140 施設(R4.3 時点)**

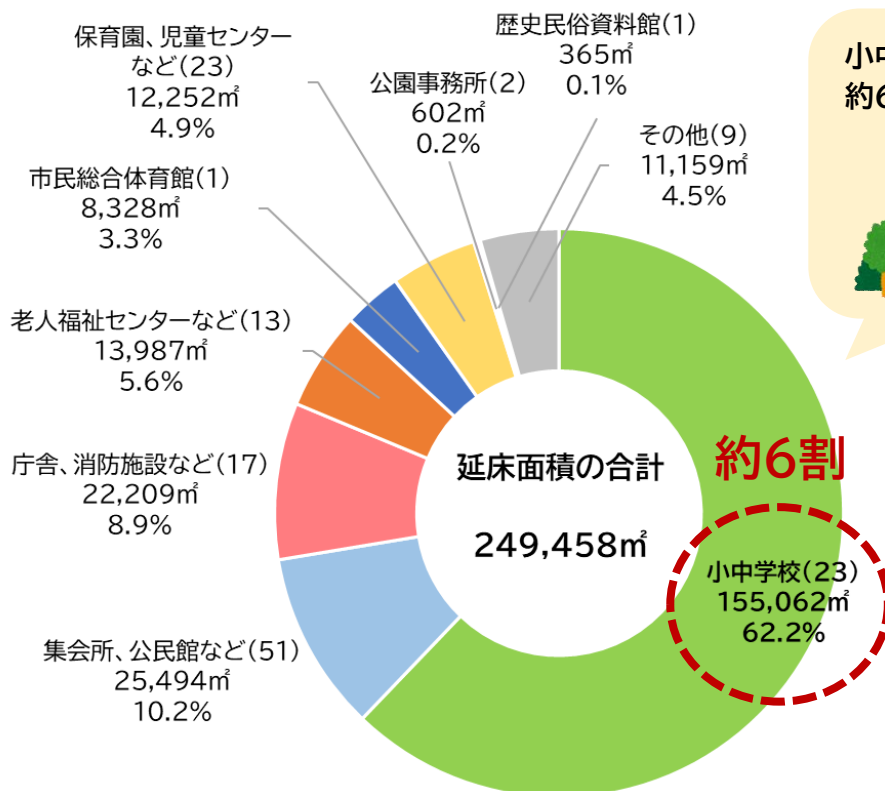
総延床面積は **約 25 万㎡**

市民一人当たり **1.5 ㎡***

※市民一人当たりの延床面積の算定に当たっては、令和4年4月1日現在の住民基本台帳登録人数(165,741 人)を用いています。

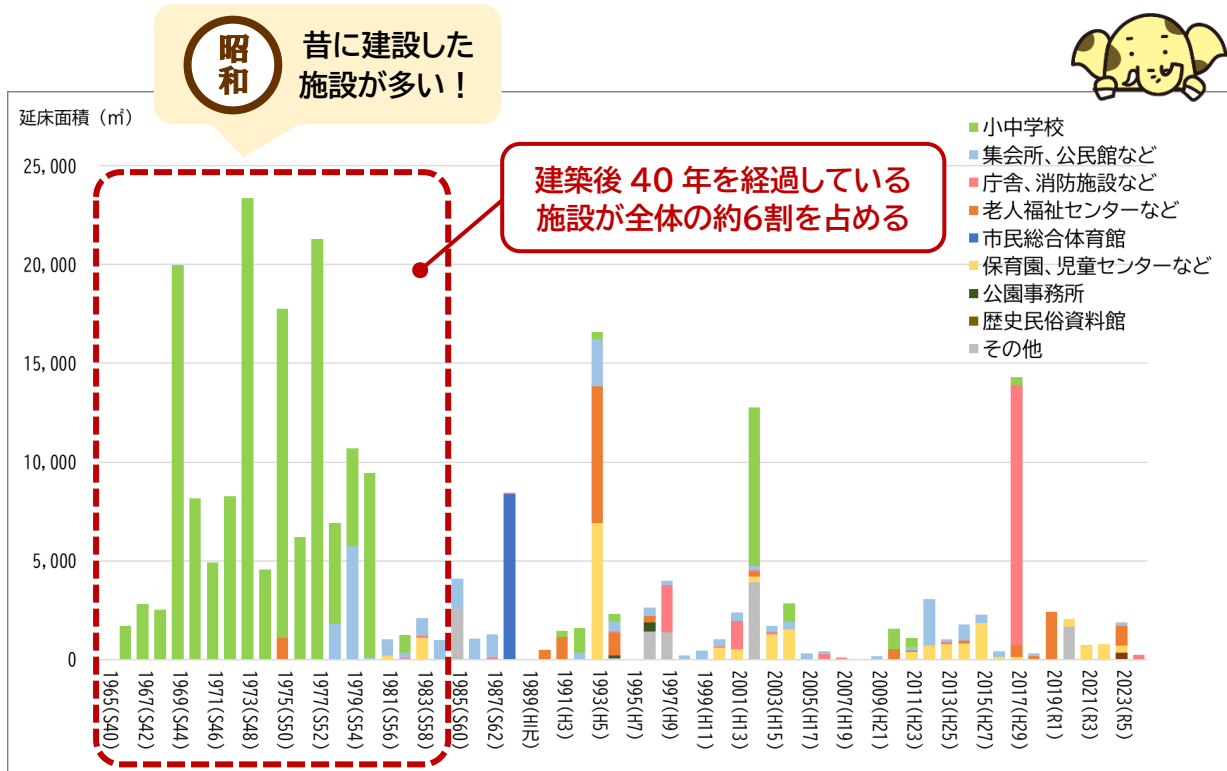
※インフラ施設(道路など)は除いています。

市の公共施設の類型別延床面積とその割合



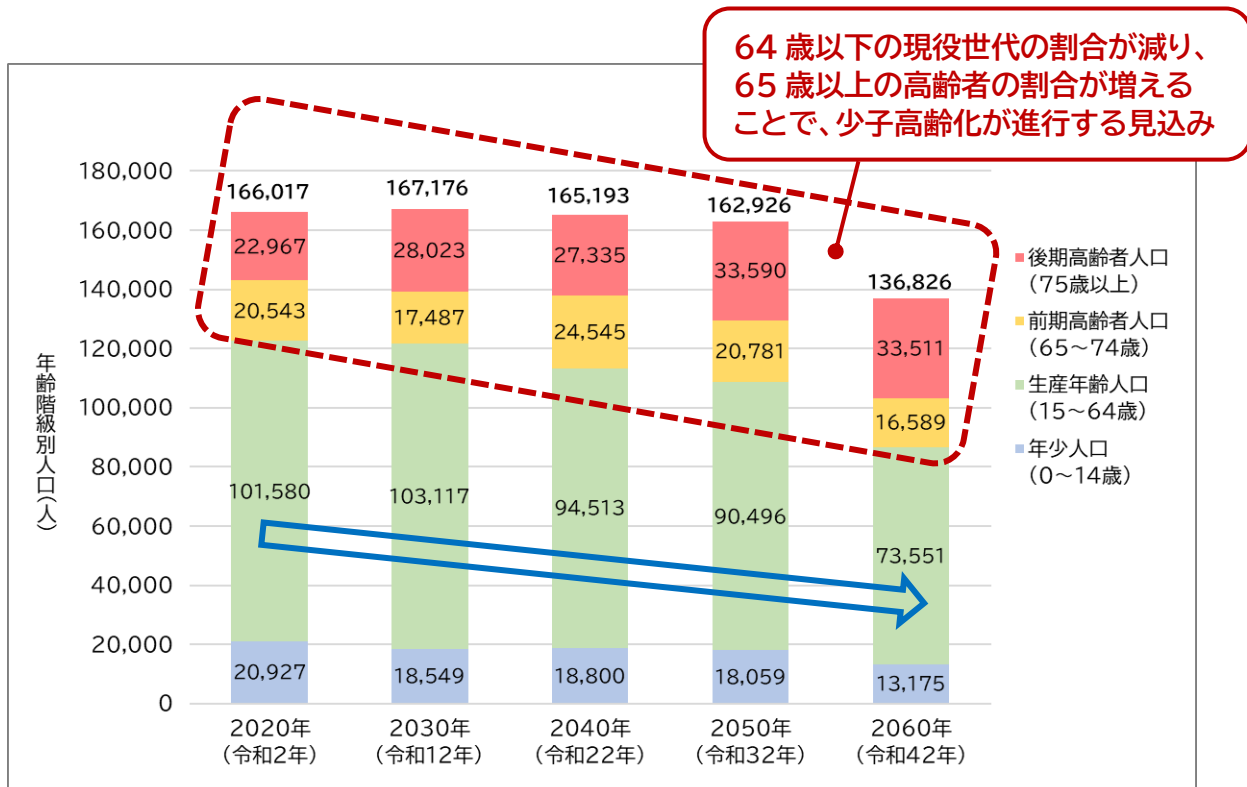
※グラフの()内の数値は施設数です。

市の公共施設の建設時期



今後の人口や財政状況の見通しは??

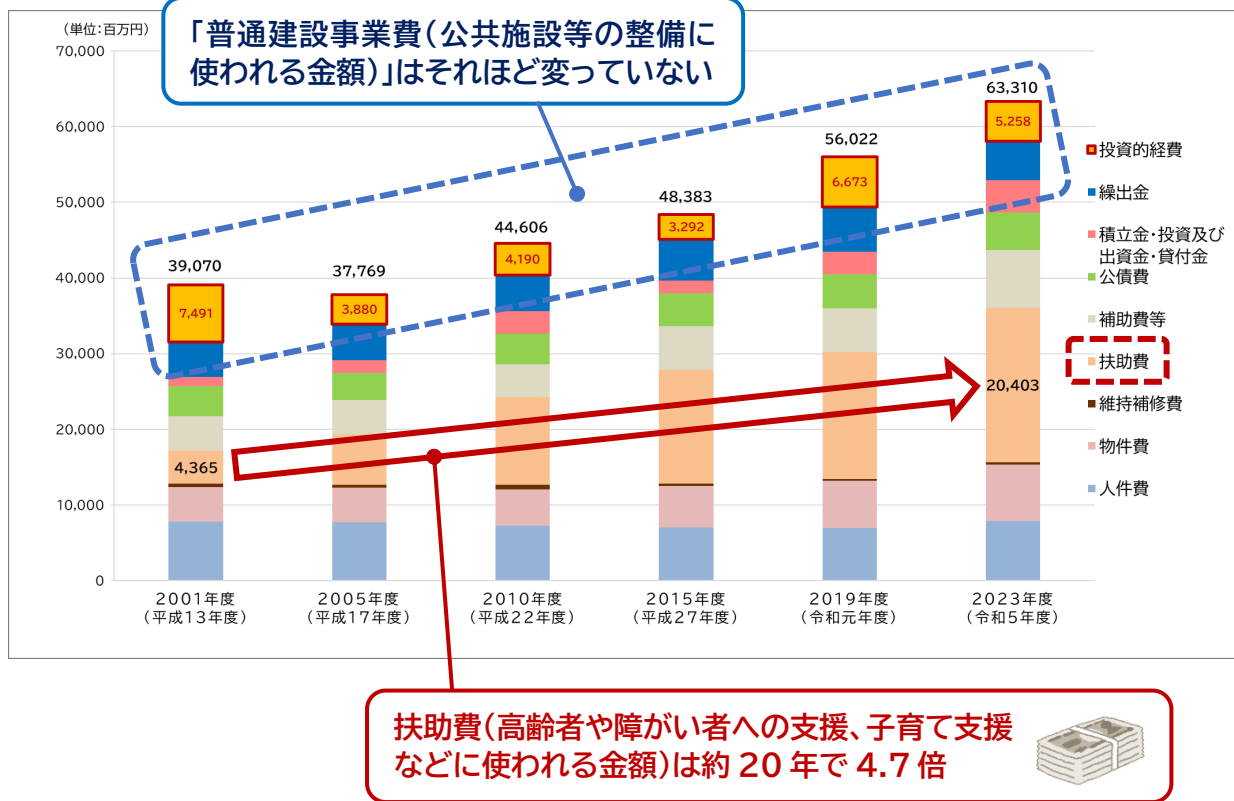
市の総人口と年代別人口の予測



出典：国立社会保障・人口問題研究所

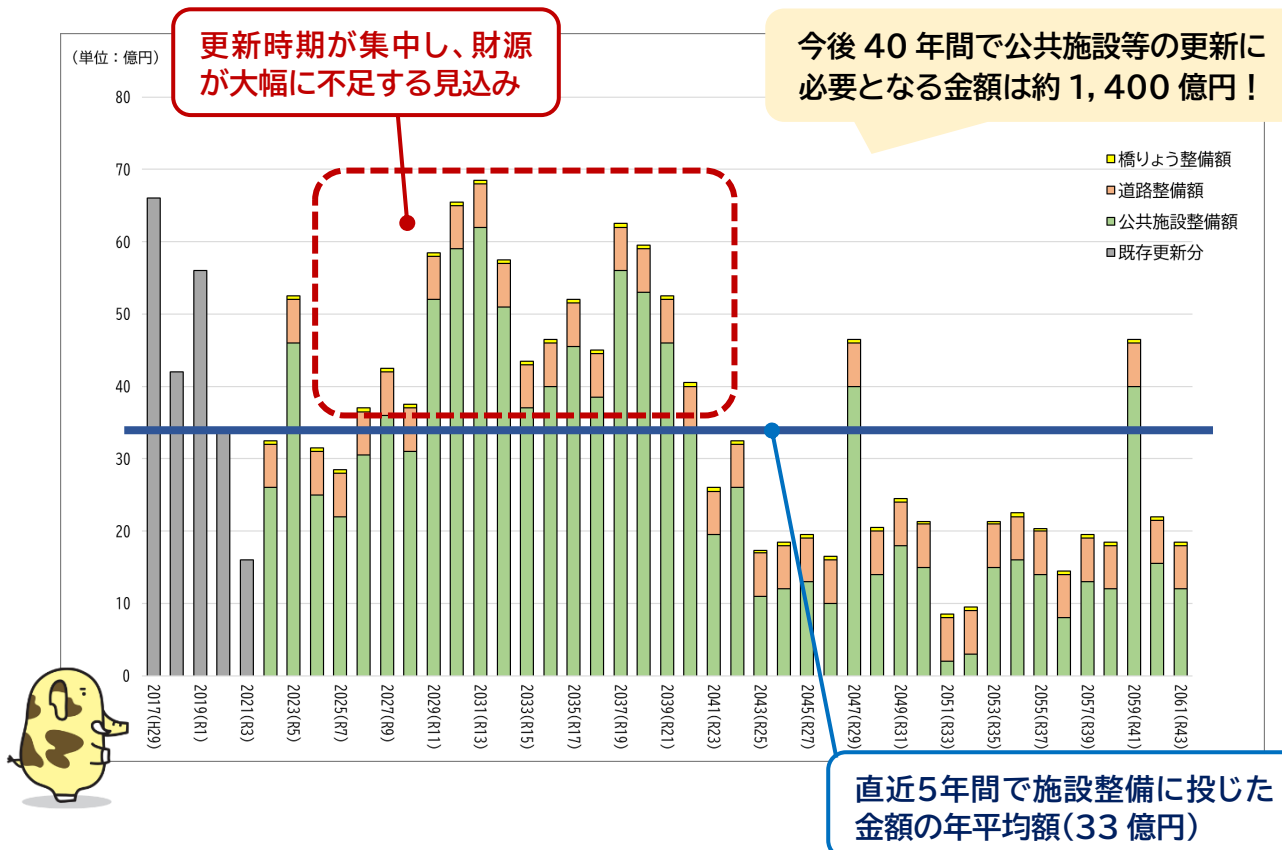
都道府県・市区町村別の男女・年齢(5 歳)階級別将来推計人口『日本の地域別将来推計人口』(令和5(2023)年推計)。ただし、2060 年は新座市独自の推計によります。

市の支出(歳出)総額の推移(普通会計)



今後40年間で公共施設にかかる費用の見込みは??

今後40年間に要する公共施設及びインフラ施設の更新費用の将来推計



公共施設等の計画的な管理に関する基本的な方針は??

■現状及び課題に関する基本認識

今後さらに老朽化が進み、一斉に更新時期を迎えると…

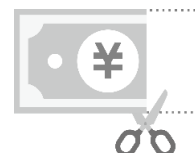
行政サービスの維持に必要な改修・更新等の費用が増加



少子高齢化などの状態が続くと…

個人市民税などの税収減少、社会保障関係経費の増加などの要因により

公共施設の改修・更新等に充てる財源が減少



設置目的や担ってきた役割、機能が今のニーズに合致していない…

老朽化により安全・多様化・省エネなど求められるスペックを満たせない…



これまでの役割を終えた施設はハード・ソフト共にアップデートが必要

■公共施設等の管理に関する基本的な考え方

ここまで整理した公共建築物及びインフラ施設の現状に対する課題を解決していくためには、中長期的な視点を持って、効果的、効率的な資産管理を行っていく必要があります。

そこで、本市では、以下の基本的な考え方に基づき、適正なアセットマネジメントを推進していくこととしています。

**1 公共施設等の
総量の適正化**

**2 長寿命化の推進
による財政負担
の平準化**

**3 新たな公共建築
物の建設は
必要最小限に**

※長寿命化とは、施設をより長期間に渡り利用することを目的として行う計画的な修繕や大規模改修などの行為のこと。



**市民の皆さんが求める公共施設のあり方を模索し、それを実現していく
プロセスの一環として「新座市公共施設再配置計画」を策定します！**

★「新座市公共施設等総合管理計画」について詳しく知りたい方は、以下の新座市ホームページをご参照ください。
<https://www.city.niiza.lg.jp/soshiki/98/sougoukanri.html>

【お問合せ先】 新座市 総合政策部 公共施設マネジメント課

電 話 048-477-1078 (平日：8:30~17:15)

FAX 048-479-2226 Email koukyou@city.niiza.lg.jp

